

< ISO14001 審査結果 >

11月13日～15日の三日間ISO14001の定期審査が予定通り行われました。審査報告書の概要をお知らせします。

1. 審査の目的

ISO14001：2004 EMSが継続して要求事項に適合しているか否かを審査すること（定期）

2. 審査結果

今回の定期審査では、適用企画 [ISO14001：2004] の中で改善指摘事項は発見されませんでした。登録されているマネジメントシステムについて、システムが維持されていると判断します。

改善指摘事項はありませんでしたが「観察された事象」として

【グッドポイント】が 4件

【改善の機会】が 10件 ありました。

【グッドポイント】

- ① 「目標・改善活動計画書」「環境側面抽出判定表」の記載事項の追加、改善により未記入、空白欄がなくなった。
- ② 「目標・改善活動計画書」を始めとして文書・記録をEMS・QMSで共有するなど、見やすさ・現場負担も考慮しながらEMS/QMS/安全マネジメント/経営計画等の融合・すみわけを工夫している。
- ③ 営業企画部では目標未達成の原因・是正策を活動計画書年度総括に記し、是正策を次年度実施策に反映して推進という課題顕在化とマイル展開で効果をあげている。
- ④ 監査報告書を「前回監査改善状況/重点監査項目状況/その他」に欄分けし、記載督励を工夫することにより監査の充実、有効性監査が進んでいた。

【改善の機会】 ここでは具体例は記載しませんが10件の「改善の機会」としての指摘がありました。

- 1. 目的・目標の設定、進捗監視、是正処置・・・2件
- 2. 内部監査・・・2件
- 3. その他（運用管理、法その他要求特定・順守評価、緊急時対応）・・・6件

審査報告書に記載された【改善の機会】を改めて確認し、改善の余地を指摘された内容については必要に応じ、改善を行いましょ。

審査はトップリングによるものです。改善の余地を指摘された部門署だけでなく、自部門署に照らし合わせて必要があれば改善策を講じて下さい。

「改善の機会」の内容は審査報告書で確認してください。

《リサイクルとごみ問題》 私たちが家庭で出来る3R 家庭のゴミを出さない工夫

大原則：3R

- リデュース： 廃棄物の発生抑制、製品の長期使用
- リユース： 使用済み製品等の再使用
- リサイクル： 使用済み製品を再資源化
(再資源化のための分別排出)

容器・包装／資源ごみ



- 1. 容器・包装は色々な面で私たちの生活を豊かにしている。しかし、それが一旦、使用済みになると、その多くは廃棄物（はいきぶつ）となる。その量は、現在、市町村の処理する（資源ごみを含めた）廃棄物の容積比で約60%を占めるまでに達している。
- 2. 少しの努力で削減が可能な容器・梱包廃棄物。スーパーのポリ袋はバック持参で削減。シャンプーは詰め替え用の商品を購入。
- 3. ビールビンやびんは販売店が回収し、メーカーに返送されて洗浄後何度も再使用される（リターナブルびん）。リターナブルびんは廃棄物の減量化の観点からは効果大きい。
- 4. 家庭用品の製造メーカーも容器包装の簡素化や少量の使用で済む洗剤等を開発し、ごみの減量化に努力している。努力している企業を応援しよう<グリーン購入>。
- 5. びんはその色によってリサイクルのしやすさが大きく違って来る。リサイクルしやすい色の容器を選択するなど、リサイクルしやすい容器の商品の購入が肝要<グリーン購入>。